

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣養老高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年1月23日(木) 13:30~15:15
- 3 開催場所 大垣養老高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	林 新太郎	本校同窓会長
副会長	久保寺 美佳	地域の住民
委員	清水 由美子	養老町議会議員
	西脇 泰一	特別養護老人ホーム「白鶴荘」施設長
	森島 千鶴	女性農業経営アドバイザー
	宇納 光好	藤井ハウス産業(株)総務部長
学校側	西脇 勝己	校長
	伊藤 由美子	事務部長
	久保田 滝敏	教頭
	小野 卓也	教頭
	戸田 京介	生徒指導主事
	水谷 孝彦	進路指導主事
	塚原 寿憲	農場長
	大野 宏	総合学科部長
	桂川 法生	寮務部長

5 会議の概要

- (1) 生徒発表 プロジェクト発表(動物科学科3年生)
令和6年度 全国和牛甲子園 体験発表会取組評価部門 優秀賞(全国2位)

- (2) スクール・ミッション策定について

校長が説明をしたのち、各委員より意見をいただいた。

意見1: 端的にポイントがまとめられていてよくわかって良い。特に、「社会の創り手の育成」という文が良いと思った。

意見2: 「学科の特長」の「長」にこだわる意味は何かあるのか。

⇒県で統一という県教育委員会からの指導もありますが、「特に長所を伸ばす」という意味があります。

- 意見3：大垣養老高校には、自分の目標があって、選んでこの学校に来る生徒がいます。その生徒の姿を現している文章になっていて、良いと思う。
- 意見4：わかる文章、響く言葉がとても良いと思う。
- 意見5：大垣養老高校は地域密着で、息子もお世話になったときに実感した。生徒も先生も一生懸命で、それを現した文章で良いと思う。
- 意見6：校長の発言にあったように、大垣養老高校は普通高校とは違い、総合学科と農業科がお互いの学科を補う学校。6次産業で言えば、生産や加工をする農業科と、新しいアイデアや販売をする商業科が連携をし、他の学校にはない特徴がある。スクール・ミッション（案）は「地域に根差した学校である」という意味や意義が文章に表現されていて良いと思う。

(3) 自己評価

教務部、生徒指導部、進路指導部、特別活動部、総合学科部、農業部、寮務部の各分掌より説明したのち、意見をいただいた。

- 意見1：MSリーダーズは、地域密着で良い活動だが、ボランティア以外にも活動の場を広げてほしい。
- 意見2：岐阜大学の農業高校推薦を積極的に利用してほしい。
- 意見3：先生方の熱量とそれに応える生徒の姿があり、感心した。HPで情報発信するとなりましたが、受け取り方が多様なため情報発信は慎重に進めてほしい。
- 意見4：基礎トレや3年生が1年生に対して自分の進路を語る会など、進路行事がとても有意義なもので良い。続けてほしい。
- 意見5：学校の目標、方針がはっきりしていて良い。経営方針に向けて教育が行われている。地域住民・親として安心ができる。大垣養老高校は素晴らしい学校なので、ずっと存続してほしい。
- 意見6：生徒達は以前に増して良い挨拶をしてくれるようになった。基本が大事にされ、徹底していると感じた。先生方の指導は素晴らしいが、外部講師の招聘を今以上に活用することも検討してほしい。
- 意見7：働き方改革の時代で、中学校の部活動指導は地域に移行しているが、是非、高校では高校の先生でやってほしい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会は、スクール・ミッション（案）に対して意見をいただき、策定の上承を得た。また、この1年間の各分掌の取組、成果、課題等を報告し、各委員より多様な観点から貴重な意見を得ることができた。来年度も引き続き、総合学科と農業科の連携、地域との連携、授業改善に努め、魅力ある学校づくりを推進していきたい。